

高円寺地域における新しい学校づくりの基本的な考え方（案）

1 新校の教育方針

- ・ 子どもたちの学習・生活の場において、義務教育 9 年間の学びの系統性・連続性を重視した指導を行うことにより、基礎学力の定着や学習習慣の確立とともに、豊かな感性を磨き、たくましく生きる力と強い体を育む。
- ・ 高円寺地域の特性を生かし、地域全体を「学び舎」と捉え、家庭・地域・学校が子どもたちの学びと成長について目標を共有し、職場体験活動やボランティア活動など、豊かな成長の機会を確保しながら、社会とかかわる力を育む。
- ・ これまで培ってきた 3 校の優れた教育の特色を継承・発展させるとともに、教科の特性を生かした言語活動の充実を図り、思考力、判断力、表現力、コミュニケーション能力を養い、社会の変化に対応していく力を育む。

2 豊かな人間性を育む学習環境等の整備充実

- ・ 杉並らしいみどり豊かな、自然に触れあえ、季節感を感じられる教育環境を確保する。
- ・ 運動習慣の確立と体力・運動能力の向上を図るため、校庭、体育館、プール、屋上運動スペースなど、9 学年の子どもたちが可能な限り、体を鍛え、スポーツができるスペースを確保する。
- ・ 特色ある教育活動の展開や習熟度別・少人数指導などの個に応じたきめ細かい指導の充実を図るための教室・設備を整備する。
- ・ 子どもたちの交流、未就学児や地域の方との交流の場となるランチスペースを設置する。
- ・ 特別な支援を必要とする子どもを含め、個々の教育的ニーズに対応した支援が可能となる特別支援教室やクールダウンスペース等を設置する。
- ・ 子どもたちが和太鼓、琴、阿波踊りの練習が行える防音設備が整備された多目的室を設置する。

3 安全性が高く、地域防災の拠点となる学校

- ・ 学校専用部分と地域開放の領域を明確に区分した施設配置や見通しが良い設計、防犯設備などにより、児童・生徒の安全を確保した学校とする。
- ・ 児童の放課後の安全と良好な育成環境を確保した学童クラブ及び放課後等居場所事業を実施するための必要なスペースを設置する。
- ・ 地震等の非常災害時に、地域の避難場所、復旧拠点として、地域のライフラインを担う十分な防災機能を備えた学校とする。
- ・ 災害時には地域の高齢者等も利用することも配慮し、だれもが利用しやすいユニバーサルデザインの校舎とする。

4 地域力を生かし、地域と共に歩む学校

- ・ 保護者や地域住民が学校運営に参画し、地域と一体となり子どもを育てていくために、「学校支援本部」や「学校運営協議会」など、学校を支える人たちの活動スペースを設置する。
- ・ 高円寺地域が持つ地域力（教育力）を学校運営に最大限生かすとともに、家庭・地域の教育力も向上させていくために、多世代が触れ合い、互いに学び、成長する場として活用できる地域コミュニティスペースを設置する。